

小田急電鉄 デハ1900形 形式図

1949年に川崎車輛で製造された3扉車
 中間にサハ1950をはさんだ貫通式3輛編成で、当時の関東の私鉄では珍しがられた
 同時に特急用の2扉クロスシートカーも製造されたが、のち3扉化の上、1900系に編入されている
 車体更新などもあり、この一族はかなりの変化を見せたが、図は 1901～1906の新造当初の姿を示した
 台車KS33E

